

# イブキシダ

## ヒメシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

*Thelypteris esquirolii* (Christ) Ching var. *glabrata* (Christ) K. Iwats.

### 選定理由

生育地が少なく、開発されやすい林縁や河川流域である。(現況:R-)

### 形態

葉は短く這った根茎から接近させて生える。2回羽状複葉で深く切れ込み25~30対の羽片をつける。羽片の基部には小さな突起がある。鱗片は黒褐色で葉柄にまばらにつく。葉柄、葉軸、葉脈に毛をつける。孢子嚢群は縁よりにつき、孢子を包む包膜は円い腎臓形である。

### 国内分布

本州、四国、九州、沖縄、種子島、屋久島。

### 県内分布

内浦区、加賀中央区、南加賀区。

### 生態など

暖地では常緑性であるが寒地では夏緑性になる。半地中植物または地表植物である。やや好陰湿地性、繁殖は根茎と孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

### 生育環境

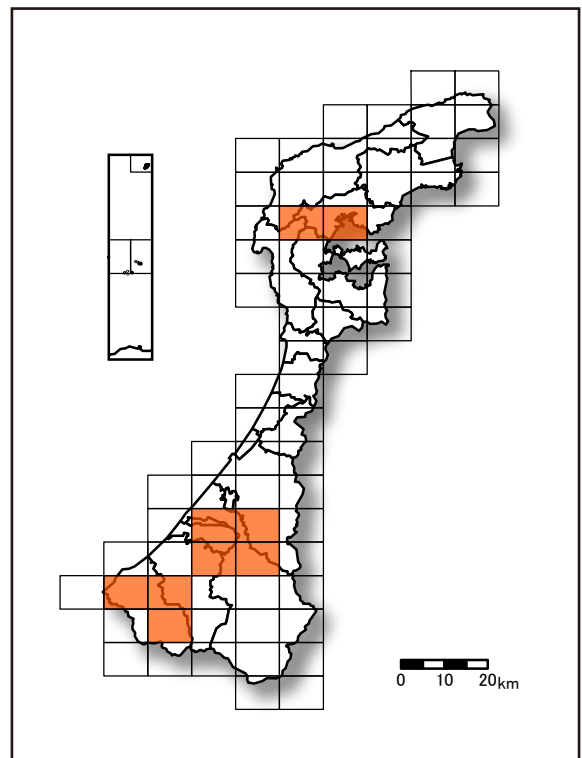
河川流域岸辺、川沿いの林縁などに生育する。

### 危険要因

河川開発、道路工事、自然遷移、ダム建設。



本多郁夫・2001年8月4日・白山市



県内の分布